



*Your Trusted Partner
in Advanced Digestive Health*

地域連携情報誌

vol.56
2025年9月

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の
健康を支え、頼られる病院であり続けます



理事

(兼) 副院長(診療・経営企画・臨床研究・治験担当)

(兼) 消化器センター センター長

(兼) 消化器内科 主任科部長

(兼) 臨床研究・治験センター センター長

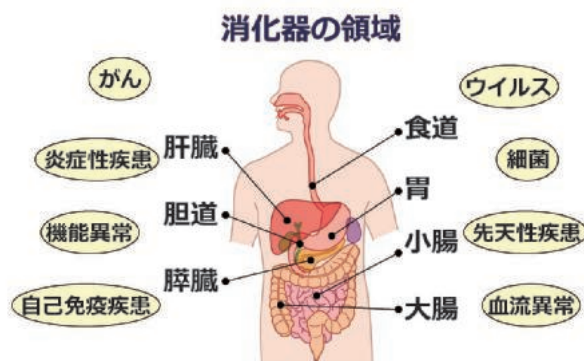
上田 佳秀

平素より当院消化器内科の診療に多大なるご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

医療の世界は日々進歩を遂げていますが、特に消化器内科学の分野は、近年の技術革新により目覚ましい発展を遂げています。当科では、最新の医療機器と高度な技術を駆使し、消化器疾患全般にわたる専門的な診断・治療を行い、「日本一レベルの消化器診療」を提供することを目指しています。消化器内科の領域は広く、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆道、膵臓とたくさんの臓器、そしてそれぞれの臓器にがん、炎症、機能異常、感染症、自己免疫疾患、血流異常、先天性疾患など、多彩な病気が発症します。当科ではこれら全ての疾患に対応できるように、各分野に精通した専門医が在籍しており、消化器疾患全般を幅広く、かつ専門的に診療できる体制を整えています。さらに、当院では、消化器内科と消化器外科を中心に、放射線診断科、放射線治療科、腫瘍血液内科、病理診断科、そして緩和ケア科など、多診療科が協力して消化器センターとして消化器全般の診断・治療を一貫して行える診療体制をとっています。

今回は、当科の特徴であるいくつかの分野の消化器診療についてご紹介させていただきたいと思います。これらの分野を含めまして、消化器内科のあらゆる疾患において専門医が連携し、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供しています。地域の先生方との密な連携を何よりも大切に考えており、先生方からのご紹介患者さんを迅速かつ丁寧に診療し、病状が安定した際には逆紹介も積極的に行ってまいります。

今後とも、地域の皆さまの健康増進のため、先生方との連携をより一層深めていきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

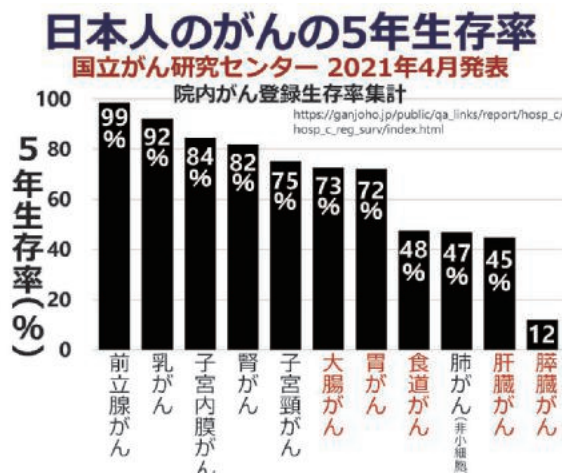
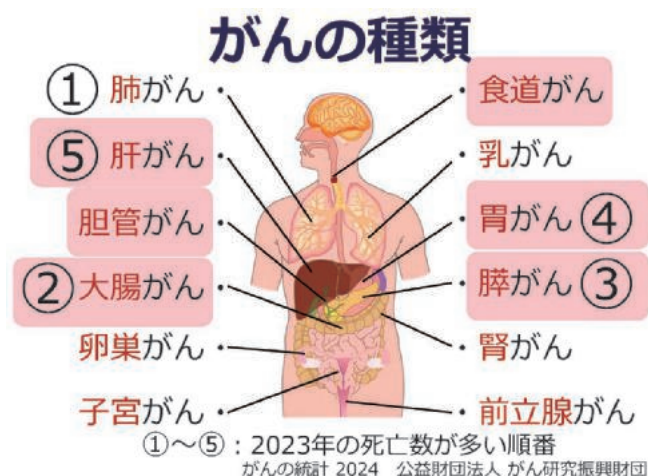


消化器内科

～高度な専門医療のご紹介～

1. 消化器がんの集学的治療

食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、膵がん、胆道がんなど、さまざまな消化器領域のがんに対して、各科と協力しながら最新の診断・治療を行っています。

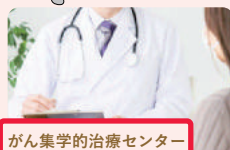


当院は2024年12月から国指定の『がんゲノム医療連携病院』となり、遺伝子診療部にてがん遺伝子パネル検査をはじめとする個別化医療にも対応できるようになりました。

がん集学的治療センターとして、手術療法、放射線療法、薬物療法などを行うとともに、緩和ケアセンターも開設し、切れ目のない医療を提供できる体制になっています。



DEPARTMENT がん治療の組織・体制



がん集学的治療センター

手術療法室、薬物療法室、放射線治療室、緩和ケア室、がん相談支援室を5つの柱として、東播磨地域のがん治療の中核を担っています。



緩和ケアセンター

診断時から適切な緩和ケアを切れ目なく提供し、患者さんとそのご家族がその人らしく生活していけるようサポートしてまいります。



遺伝子診療部

各診療科・拠点病院と連携し、患者さん一人ひとりの状況や考え方に配慮した病気の診断や遺伝カウンセリングを行います。

加古川中央市民病院ががんゲノム医療連携病院へ

2024/12/1～



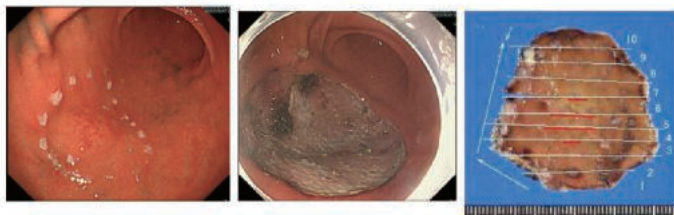
2. 消化管の内視鏡治療

消化管の早期がんに対して、これまでのポリペクトミーや内視鏡的粘膜切除術（EMR）に加え、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を積極的に行っています。

ESDを行うことによって、より広範囲の病変やEMRでは一括切除が困難であった病変に対しても確実な一括切除が可能となり、患者さんの身体的負担を最小限に抑えつつ、根治性の高い治療を提供できるようになっています。

2024年には計134例のESDを行いました。

内視鏡的粘膜下層剥離術 Endoscopic submucosal dissection ESD



2024年 加古川中央市民病院でのESD件数
計 134例

食道 14例 胃 85例 大腸 35例

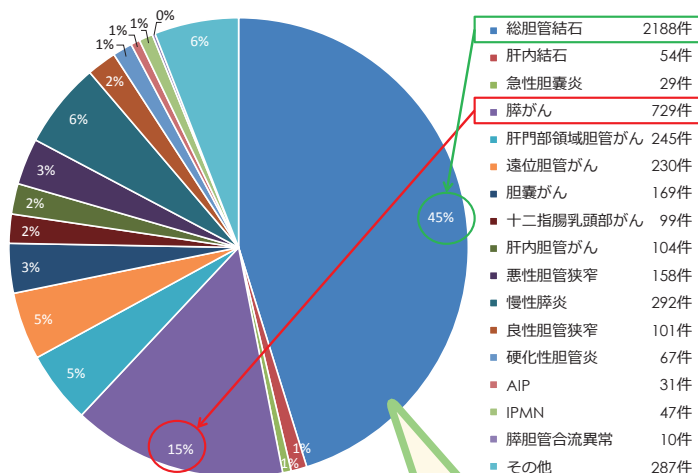
3. 胆膵の内視鏡処置

胆石、胆嚢炎、膵炎、胆道がん、膵がんなど、診断・治療が難しいとされる胆膵疾患にも専門的に対応しています。胆膵の内視鏡検査・治療として、内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）を年間約600例実施しており、胆道鏡や電気水圧衝撃波結石破碎術などの高度な内視鏡技術を駆使しています。

また、超音波内視鏡（EUS）を用いた診断や治療も年間約450例施行しており、超音波内視鏡下胆管十二指腸瘻孔形成術（EUS-CDS）や超音波内視鏡下肝内胆管胃瘻孔形成術（EUS-HGS）などの高度な治療も行っています。

ERCPの疾患内訳

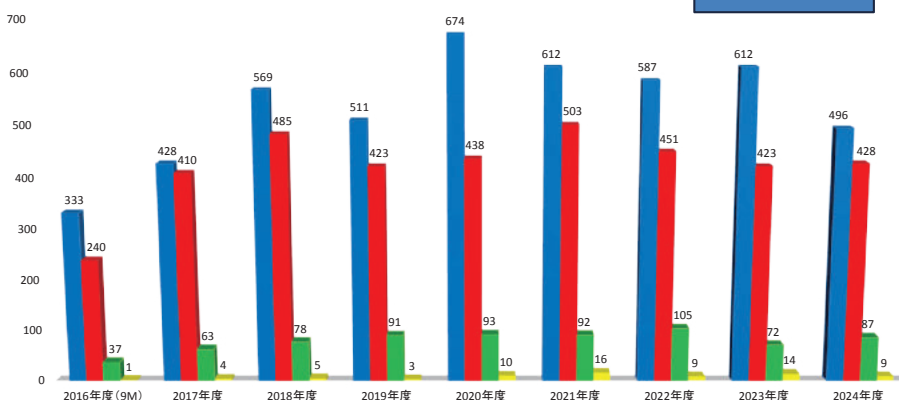
【期間：2016年7月-2025年3月】
ERCP関連手技 4840件



約半数が総胆管結石。
膵がん症例が多いことも
特徴です！

胆膵内視鏡件数の推移

(件) ■ ERCP ■ EUS ■ EUS-TA ■ Interventional EUS



ERCP 600件
EUS 450件
EUS-TA 90件

「Interventional EUS」は
適応を慎重に検討しながら
施行しています。

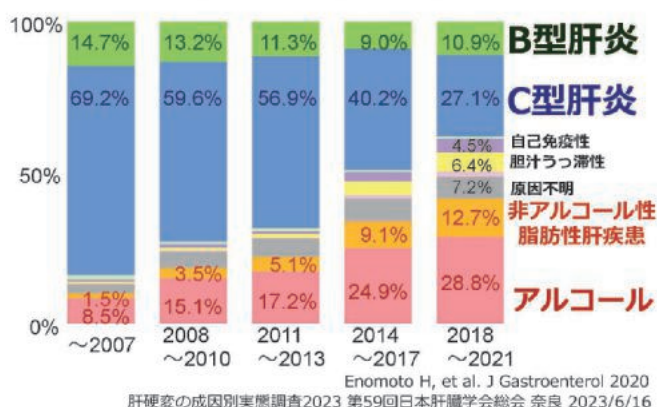
～近年当科から投稿した論文一覧～

筆頭著者	タイトル	雑誌
D Orita, et al	Endoscopic cyanoacrylate injection with gel immersion method improved the visual field in profuse gastric variceal hemorrhage	Endoscopy 2023; 55: E684-E685
平田祐一ら	Osler病を背景とした繰り返す胆道出血により肝不全に至り、救命困難であった一例	日消誌 2024; 121(2): 134-143
Y Hirata, et al	Anchor-looped-wire technique using a double lumen catheter to prevent proximal dislocation of a pigtail plastic stent when placing multiple biliary stents	Dig Endosc 2024; 36: 640-641
Y Hirata, et al	Transpapillary biliary drainage using a forward-viewing endoscope for distal malignant biliary obstruction after placement of a duodenal stent for type I duodenal stenosis	Endoscopy 2024; 56: E253-E255
Y Hirata, et al	Endoscopic lithotripsy for an impacted biliary stone at the confluence of the cystic duct and common bile duct using a novel drill dilator	Endoscopy 2024; 56: E294-E295
D Orita, et al	Gel immersion method for acute hemorrhagic rectal ulcer provides effective hemostasis without manual disimpaction or position changes	Endoscopy 2024; 56: E1106-E1107
Y Hirata, et al	Slip-knot thread method for performing anchor-wire technique to prevent proximal dislocation of preceding stent in placement of multiple biliary inside plastic stents	Endoscopy 2025; 57: E62-E63
Y Hirata, et al	Endoscopic removal of intrahepatic bile duct stones using a slim basket catheter passed through a device delivery system in a patient who had undergone pancreaticoduodenectomy	Endoscopy 2025; 57: E228-E229
Y Hirata, et al	Transpapillary biliary drainage using a forward-viewing endoscope for patients with distal malignant biliary obstruction and type I duodenal stenosis	Endosc Int Open 2025; 13: a25542784

4. 肝臓病の予防・治療

最新の知見に基づいた専門的な肝臓病診療を提供しております。原因となるC型肝炎、B型肝炎、アルコール性肝疾患、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患を治療することによって肝がんや肝硬変を予防することから、進行肝がんに対する全身薬物療法や非代償性肝硬変に対する肝移植の提案まで、さまざまな肝疾患に幅広く専門的に対応しています。

日本の肝硬変の原因

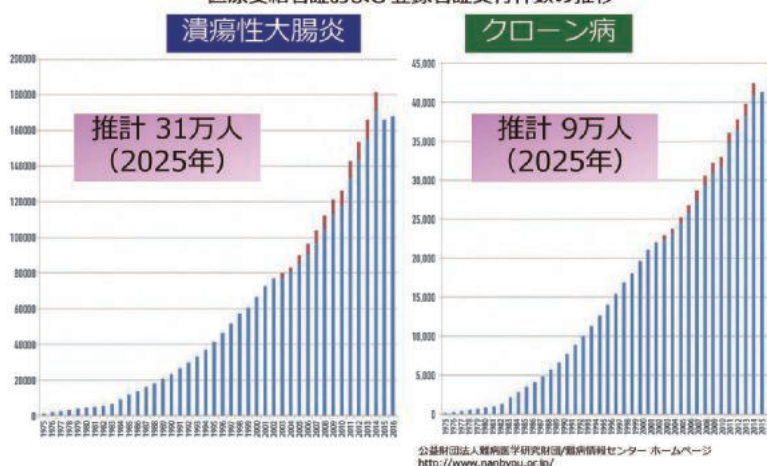


5. 炎症性腸疾患の治療

近年、日本において潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患（IBD）の患者さんが増加傾向にあります。IBDの治療は近年目覚ましい進歩を遂げており、新規治療薬が次々と登場しています。当院は日本炎症性腸疾患学会の指導施設に認定されており、潰瘍性大腸炎やクローン病の診療症例数も多く、地域の中核病院としての役割を果たしています。下痢、腹痛、血便などの消化器症状が長引く患者さんがおられましたら、当院にご紹介ください。

日本で炎症性腸疾患が増加

医療受給者証および登録者証交付件数の推移



新入職医師・退職医師のお知らせ



<入職> 2025年 7月- 9月

所 属	氏 名	役 職 名
形成外科	伊東 英一郎	専 攻 医
麻酔科	守田 昂平	専 攻 医
歯科口腔外科	大堀 浩明	

これからよろしくお願いたします。

<退職> 2025年 7月- 8月

所 属	氏 名	役 職 名
消化器内科	多木 未央	医 長
小児科	沖田 空	科 副 部 長
	村本 梓	専 攻 医
消化器外科	森川 達也	科 副 部 長

皆様には大変お世話になりました。

F A Xの誤送信防止のためにご協力をお願いします

1. 当院へ送信される前に F A X 番号を再度ご確認ください。
2. F A X 機に短縮ダイヤル機能がありましたら、当院の番号を登録いただければ幸いです。



登録医のご案内

当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は350名を超える地域の先生方に登録していただいております。

医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に応えていきたいと考えておりますので、ご登録でない先生方におかれましては、ご検討いただけましたら幸いです。なお、当院ホームページにも登録医一覧を掲載させていただいております。

登録医の先生方には、

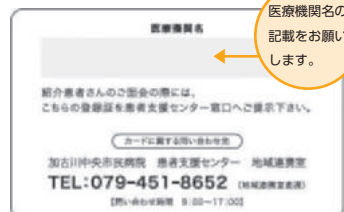
- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書の閲覧、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

患者面会のご案内

当院への来院時の流れ（ご紹介患者の面会）

- 1) 平日時間内であれば、患者支援センターにある入院支援窓口にお越しください。休日・時間外であれば、総合案内または時間外受付にお越しください。
- 2) 窓口にて上記の開放病床登録医登録証の提示をお願いします。
- 3) 病室に入られる際には、ご持参いただいた登録証を面会カードに入れていただきます。

※スムーズにご案内するためにも事前に当院への来院が予定されている場合には、地域連携室に連絡をお願いします。患者さんへの面会は、当院の面会手順にそって対応します。ご面会できない場合もありますのでご了承ください。



連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

ひおかファミリー内科

診療科：内科／外科／小児科

この度5月に加古川町美乃利地区で『ひおかファミリー内科』を開業させていただきました野神です。

私が医師を志す原点には、阪神淡路大震災の経験があります。ライフラインが寸断され、交通アクセスが困難となる中、医療へのアクセスも限られる状況を目の当たりにし、地域住民の皆様の役に立てる医師になりたいと強く思いました。

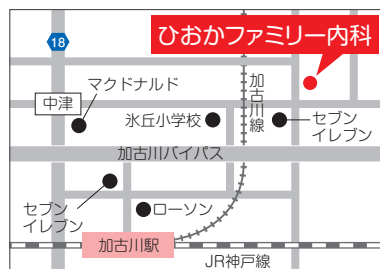
医学部在学中は将来の進路に悩む時期もありましたが、地域医療学の講義で出会った国保診療所などで活躍される先生方の話や美しい自然の風景に触れるうちに、地域医療こそが自分の進むべき道だと確信しました。大学病院の総合診療科での研修を経て中山間地における多様な医療問題に寄り添いたいという思いから、兵庫県内や長野県内の国保診療所などに勤務してまいりました。そしてこの度、生まれ故郷である加古川市で開院させていただく運びとなりました。

専門性を敢えて持たないことを強みとし、年齢や性別を問わず、皆様の様々な心身の不調に対応できる、身近で包括的な医療を提供したいと考えております。どうぞ末永くよろしくお願い申し上げます。



院長 野神 孝夫 先生

HPは
こちら
⇒



所在地：加古川市加古川町美乃利452-2
駐車場：15台

TEL. 079-490-7885

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~11:30	○	○	○	○	○	○	—
16:00~18:30	○	○	○	○	○	—	—

休診日：土曜午後・日曜・祝日

まつい耳鼻咽喉科

診療科：耳鼻咽喉科

2007年滋賀医科大学を卒業後、神戸大学病院耳鼻咽喉科、頭頸部外科学教室に入局いたしました。神戸大学、兵庫県立がんセンター、姫路医療センターを主に勤務後、2025年7月に明石市大明石町で開業させていただきました。当院は、明石駅から徒歩5分の医療ビル内にございます。耳鼻咽喉科の一般的な症状から、嚥下障害・補聴器相談・喉摘患者の人工鼻相談・睡眠時無呼吸症候群まで幅広く対応し、乳幼児から高齢の方まで安心して通える医療を目指しています。

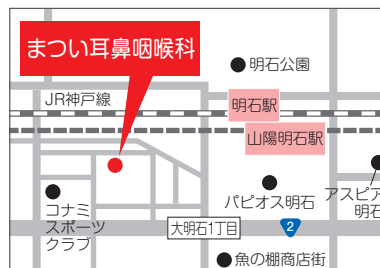
また発熱患者専用の待合室を準備しており、できる限り感染症患者さんと一般の患者さんを分けた導線となるように設計しております。

地域医療への貢献を目指して努力して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



院長 松居 秀敏 先生

HPは
こちら
⇒



所在地：明石市大明石町1丁目9-23
明石メディカルビル3F東
駐車場：近隣に提携駐車場有り

TEL. 078-911-3387

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	○	○	—	○	○	○	—
15:30~19:00	○	○	—	○	○	▲	—

Web受付：(午前) 11:30まで、(午後) 18:30まで
土曜午後(▲)：14:00-16:00(Web受付は15:30まで)
休診日：水曜・日曜・祝日

在宅医療連携研修会開催のご報告

開催日	テーマ	講師
7月17日(木)	慢性腎臓病 (CKD)患者支援・意思決定支援	齊藤 慶 【医師：腎臓内科 主任医長】 林 美代子 【慢性疾患看護専門看護師】

「CKD患者の療養支援、意思決定支援」というテーマで開催しました。当日は、39名（院外21名・院内18名）の方の参加がありました。

講義後に実施したアンケートでは「PD[®]について詳しく学ぶことができてよかった」「意思決定支援についてさまざまな治療法を知れてよかった」「PDの実践もみてみたい」「今後透析患者へのケアや接し方の参考になった」などの意見がありました。質疑応答では、施設利用者へのPD支援について、今後地域との連携がますます必要となることを共有することができ、有意義な研修会となりました。

注）PD：腹膜透析（Peritoneal Dialysis）



在宅医療連携研修会の開催予定

2025年11月以降の研修会を次のとおり計画しています。ご興味のある方は、ぜひお申込みください。

開催日	テーマ	講師
2025年11月27日(木)	緩和ケア	宇崎 知佳 【緩和ケア認定看護師】
2026年1月15日(木)	感染管理	尾崎 真奈美 【感染管理認定看護師】
2026年3月19日(木)	摂食・嚥下障害看護	窪田 容子 【摂食・嚥下障害看護認定看護師】

- 場所：加古川中央市民病院 1F きらりホール ● 時間：18時～19時30分
- 日程や内容、講師が急遽変更になる場合があります。
- 開催の案内については、1～2ヶ月ほど前にホームページで案内させていただきます。

詳しくはホームページをご覧ください。

加古川中央市民病院 在宅医療連携研修会

検索

